

平成 28 年度 東濃支部症例検討会・施設連絡会 活動報告

日時：平成 28 年 12 月 10 日(土) 13:00~15:00

場所：土岐市立総合病院 核医学棟大会議室

内容：①症例検討会

「足関節脱臼骨折の一症例～長・短腓骨筋に着目して～」

市立恵那病院 リハビリテーション室 吉村聡美

「重度片麻痺患者に対する下肢装具療法 ～文献的考察を踏まえて～」

医療法人社団日新会 城山病院 理学療法士 原 裕貴

「山間部在住の独居老人に対する自宅退院に向けて」

医療法人社団日新会 城山病院 理学療法士 三浦 傑

「著明な膝関節拘縮を呈した 90 歳代女性への住環境を考慮した立ち上がり動作に対する
アプローチの工夫」

恵那医院リハビリケアセンター 西尾 聡

②施設連絡会 平成 28 年度東濃支部活動報告など

座長：恵那医院 小島健嗣先生

特別養護老人ホームシクラメン 原司先生

寒さがひとしお身にしみる頃となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、去る 12 月 10 日(土)に開催された東濃支部症例検討会について、以下に報告致します。

参加者はスタッフ合わせて 22 名で、施設連絡会と同時開催の影響もあり、経験年数豊富な先生方の参加が大半でした。発表演題は、それぞれ分野の異なる内容で、質疑応答も含めて大変勉強になるものばかりでした。症例発表をするための準備、アウトプット、質疑応答を経て新たな学びを得る、これら一連の過程は非常に重要です。同日に開催された指定管理者研修でも話題になっていましたが、改めて卒後教育・職場内教育における症例検討会の重要性を感じました。

課題としては、昨年同様参加者が少ないことが主に挙げられました。今後は開催時期・曜日・時間帯・様式など改善できる部分は見直し、より多くの参加者と充実した時間を過ごせるように工夫を重ねていきたいと考えています。

最後に、座長を務めて頂きました先生方、症例発表をして頂いた先生方、準備に携わってくれたスタッフの皆さん、準備や後片付けを手伝って下さいました参加者の皆様に心より御礼申し上げます。

東濃支部学術研修担当 浅井智也

